



第14期第8回 概要報告

令和5年12月15日、第8回生涯学習推進委員会議が開催されました。今期提言に向けた議論としては今回が最終回となります。事務局より提言の骨子が示されました。説明のあと、委員による意見交換を行いました。以下、概要をお伝えいたします。

『提言書1』の骨子「部活動の地域移行に伴う生涯学習の役割」

【事務局より説明】

○構成について……

- ①学校の働き方改革を踏まえた部活動改革～議論の背景と現状(国、東京都の考え方)
- ②千代田区の取り組みについて
区立中学校・中等教育学校における部活動の状況表(指導員の配置状況)を掲載。
外部人材を積極的に活用、国と都を注視しながら今後の動きに対応する。
- ③千代田区の課題
人材確保、人材育成業者委託のセキュリティ、財源等について。
- ④委員の議論
部活動と地域のかかわり、教員や保護者の意識、既存の地域団体との関係、外部指導員の確保、人材バンクの活用と運営組織、指導者の質保証、安全の担保、学校と地域をつなぐ中間団体とその役割について。
- ⑤提言



【委員による意見交換】

- ・千代田区で既に行っている取組を応援する方向性の提言でよいのではないかと。
- ・指導員、施設等の費用、財源、保険等について、中間団体を形にする過程で必要となる。
- ・部活動指導員、外部指導員の業務形態、費用等については事務局が正確なところを調べる。
- ・無償ボランティア、企業の人材など、より幅広く人材を集める必要がある。
- ・部活動の地域移行に生涯学習が関わっていく意味合い、理念的・制度的な枠組みをイントロダクションで伝えていきたい。

・提言1のタイトルを「千代田区の生涯学習を踏まえた部活動の地域移行・連携について」とする。

『提言書2』の骨子「千代田区の特性を踏まえた生涯学習(区民講座)のあり方
～ちよだ生涯学習カレッジについて～」

【事務局より説明】

○構成について……

①背景と課題

設立コンセプト「地域で活躍するコーディネーター人材育成」を目指したが定員割れが続き、コミュニティ課題解決を担う人材育成に至らない。学習成果の地域への還元が課題。

②ちよカレの現状について

受講生アンケート、運営事業者へのヒアリング、卒業後の活動実績調査結果とともにちよカレ運営事務局の展望を提示。

③委員の議論

設立時コンセプト、講座プログラム、対象者と人材像、受講者拡大、魅力の発信、卒業のバリュー等を課題として検討が望まれる。

④提言



【委員による意見交換】

- ・地域で活躍できる人材の概念は町会だけでなく、90万人の昼間人口が千代田区の生涯学習の恩恵を受け、在勤者が活躍できるイメージを伝えていきたい。
- ・在住・在勤者ともに千代田区の生涯学習の中核として「ちよカレ」が『大丸有』(※1)のような地域や企業と連携し、面白さを伝える。コミュニケーションをベースに生涯学習全体のベースを拡大。
- ・いわゆる市民大学・区民大学の発想の原点は長野自由大学(学習者の学習者による指導者養成)ちよカレは公的社会教育と自由大学的な発想の中間の曖昧さ、委託が課題として検討の余地があるのではないか。
- ・卒業生の活躍が広がり、地域に浸透するための予算と応援の形を組み込んでほしい。
- ・検討会の設置に向けて動いていくなればそこで議論ができる。10周年のシンポジウムも必要か。
- ・運営事業者に意見を言える仕組み、「ちよカレ」の魅力発信など、提言を受けて検討したい。
- ・ちよカレの公共性、地域貢献とは、知の循環とは、理念的な通底するものを盛り込む必要がある。
- ・提言1とも通底する生涯学習の成果と人材をどうコミュニティの中に戻していくかを意識してまとめることが提言2においても重要。

※1 大丸有=大手町・丸の内・有楽町を合わせた日本最大規模のオフィス街。主要なビジネス、中心商業地区を形成。(Wikipedia より)

第14期の経過	
第1回	委嘱状交付、会長、副会長選任、今期テーマについて
第2回	基調講演「部活動の地域移行と教員の専門性の向上—情報提供と問題提起—」 今期テーマについて
第3回	今期テーマについて
第4回	今期テーマについて
第5回	レクチャー「千代田区における部活動の現状と課題」、分科会議論①
第6回	分科会議論②
第7回	レクチャー「東京都における部活動の地域移行の考え、課題と展望」 提言の骨子案について全体議論
第8回	提言に向けて最終議論

～次回第9回会議は3月28日(木)午後3時より、区役所特別会議室です～



「誰もが住み続けられるやさしい街作り “和顔”」

渡邊 由子

暑い暑いどうしてこうも暑いのと、思わない日が無いほどの暑さでした。汗だくの若いお母さんは泣きじゃくる子供に手をこまねいていました。どうにかして上げたいと思いはするものの子供の気を紛らわせる物は何も有りません。情けないと思いつつ目を逸らして、そそくさとその場を通り過ぎました。

———“和顔”が頭に浮かびました———

コロナ禍の子供たちも大変な思いをしました。手を振って挨拶したり、笑ったりしてもマスクの下の表情は解りません。キョトンとするばかりです。多くの子供達がそうだった事でしょう。子供達の心の発達に与える影響は大きいと思います。その時の私達に何が出来たのでしょうか。

早朝の散歩に時折お目に掛かるおじ様がいらっしゃいました。風の便りに膝の手術をなさったとか…。そんなある日、遠くから帽子まで取られて挨拶をして下さっている姿を見つけました。会うなりニコニコして大きな声で“僕ね、皆さんに心配かけてしまいました”“ここ（膝の傷を見せて）十年後には又手術をするんだそうです”“僕は100歳まで生きるのので後、二回はします”“ワッハッハ”

———和顔なんてスッポぬけた一瞬でした———

和顔(わがん) …『にこやかな表情』、お布施をもっていなくても和やかな微笑みがお布施になる、の意味

「べんきょう すき？」

渡辺 美鈴

先日、知人との雑談の中で急に次のような質問をされてたいへんに当惑しました。

「こどものとき、べんきょうがすきだったの？」

どのような回答が期待されているのか判断しかねたのです。

そもそも、その前の会話というのは、小学生が自分のおじいちゃんがドイツ人だということで、ドイツ語で話しかけて、子供の驚く顔を見て楽しかったことを伝えたかっただけ。オトナになってからドイツ語を学んだから少し話せる、といった説明もした後の問いでした。

「当惑」に戻って、その理由を考えてみると『なぜ今更子供の時の好き嫌いについて問われるのか？』でしょうか。

子供を見守る職場環境にいる知人にとっては、「勉強＝子供達が日々葛藤している責務」と言う認識なのかもしれません。

でも、子供の時は、勉強に限らず、日々新しいことを知るのが楽しかったでしょ？

オトナになってからの勉強は生涯学習と称されています。それは、語学に限らず、働く世代である頃にはキャリアアップを目的とする場合も多いようです。ただ、なにより違うのは幾分でも自分の興味に沿っていることでしょう。仕事面で多少のメリットもありましたが、それは短期的なこと。長い年月の間には、同好の仲間関係の構築やコミュニケーションツールとしての役割が大きくなっています。違う価値観や新しい世界を知り、楽しい時間を過ごす重要な要素となっていると感じます。

だから、次回があれば、こう答えたい「今も すき」





リレー随筆

「多文化多民族共生とコミュニティのエンパワーメント」

前田 耕司

外国人の「育成就労」制度の創設に加えて、家族滞在の学生を対象に大学奨学金を拡充する指針を示すなど、本年2月に政府が外国人材の育成に向けて大きく舵を切ったと報じられました。その背景には、言うまでもなく日本社会の少子化や働き手不足の問題が起因しています。

日本社会教育学会では一昨年、「多文化多民族共生の取り組みへの社会教育からの挑戦」というプロジェクトを立ち上げました。筆者もそのメンバーの一人として、度々オーストラリアに出向き、連邦や州の政権交代による政策や枠組みの変更にそくして入手データのアップデートを続けています。例えば、本提言（部活動の地域移行）の趣旨に沿って述べると、オーストラリアの多くの中・高校生が放課後参加する地域総合型スポーツクラブでは、スポーツにおける民族的な偏りを是正するためのマイノリティ優遇策が展開されています。多文化主義を国是とするオーストラリアらしい取り組みの一つといえます。

日本的な風土の中で醸成されてきた「多文化共生」の言説の限界が指摘されるなか、民族や文化の異なりをこえて互いに尊重できる社会を構築するためには、それぞれの民族が保持する文化の豊かさへの気づきが大切です。

千代田区に目を転じてみると、昼間人口の比率が最も高い自治体ですが、昼間人口の民族構成などのデータは統計には表れません。オフィス等で働く人々の民族性に基づく潜在力が地域活性化の起爆剤になることを願ってやみません。

【編集後記（事務局より）】

第14期「生涯学習推進委員会議だよりエポック」は、今回をもちまして最終号となりました。委員の皆さまには、ご多忙の折、リレー随筆の執筆、全9回の会議出席と、2年間にわたり多大なるご協力を賜りまことにありがとうございました。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。第9回会議は、樋口区長への提言書提出が行われます。

令和6年4月からの2年間は、第15期生涯学習推進委員会議として、新しいテーマで千代田区生涯学習の振興方策やめざす姿を議論することとなります。来期もどうぞよろしくお願い申し上げます。

【編集／発行】千代田区 地域振興部 生涯学習・スポーツ課 〒102-8688 千代田区九段南 1-2-1
TEL：03-5211-3632 / FAX：03-3264-1466 / Mail：shogaigakushuu@city.chiyoda.lg.jp